

令和5年7月現在

	氏名	所属・役職等	備考
1	秋山明美	柏市旅館業組合会計	
2	石井鏡子	柏市民生委員児童委員協議会豊四季台西地区会長	
3	石橋真理子	公募委員	
4	大宅正起	東葛地域獣医師会	
5	齊藤泉	柏市薬剤師会会長	
6	佐藤紀子	千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科長	
7	中山宙久	柏歯科医師会会長	
8	西出良一	柏市医師会副会長	
9	濱石ミチ子	千葉県看護協会東葛地区部会会長	
10	原田静香	順天堂大学大学院 医療看護学研究科 准教授	
11	平野準子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会会長	
12	風澤秀夫	柏市食品衛生協会会長	
13	松倉聡	柏市医師会会長	
14	吉田雅人	公募委員	
15	和田靖之	東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科診療部長	

(敬称略 50音順)

柏市保健衛生審議会部会 委員名簿

母子保健部会

	氏名	所属・役職等	備考
1	足立 千賀子	千葉県助産師会監事	
2	石橋 真理子	公募委員	
3	菊池 春樹	東京成徳大学応用心理学部臨床心理学科准教授	
4	窪谷 潔	柏市医師会副会長	
5	小松崎 禎	柏児童相談所柏末広支所支所長	
6	佐藤 紀子	千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科長	
7	杉山 拓人	柏市認定こども園協議会主任	
8	萩原 亜希子	柏市小中学校校長会柏市立柏第六小学校校長	
9	林 恵子	柏市私立許可保育園協議会副会長	
10	平野 準子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会会長	
11	山田 聡	柏市私立幼稚園協会会長	
12	吉田 聡子	柏歯科医師会	
13	渡邊 智子	学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校校長	
14	和田 靖之	東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科診療部長	

(敬称略 50音順)

健康増進部会

	氏名	所属・役職等	備考
1	加藤 理津子	東京家政学院大学人間栄養部人間栄養学科准教授	
2	近野 正志	柏市スポーツ協会理事長	
3	齊藤 泉	柏市薬剤師会会長	
4	杉本 健太郎	千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科講師	
5	橘 房子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会副会長	
6	中澤 行雄	柏市保健所管内調理師会副会長	
7	橋本 英樹	東京大学大学院医学系研究科教授	
8	平野 江利香	柏市医師会理事	
9	星野 啓一	タバコ問題を考える会・千葉副代表	
10	細井 毅	柏歯科医師会副会長	
11	吉田 雅人	公募委員	
12	和田 季理	柏市スポーツ推進委員協議会副会長	

(敬称略 50音順)

柏市保健衛生審議会 健康医療部参加者名簿

	所 属	氏 名	新留の別
1	保健所長	田 中 央 吾	新任
2	健康医療部次長兼総務企画課長	稲荷田 修 一	新任
3	健康政策課長	大 西 佑 作	新任
4	地域保健課長	星 裕 子	留任
5	健康増進課長	浅 野 美穂子	留任
6	保健予防課長	小 倉 恵 美	留任
7	生活衛生課長	小 野 健 司	留任
8	衛生検査課長	赤 池 孝 至	新任
9	動物愛護ふれあいセンター所長	芳 川 恵 一	新任

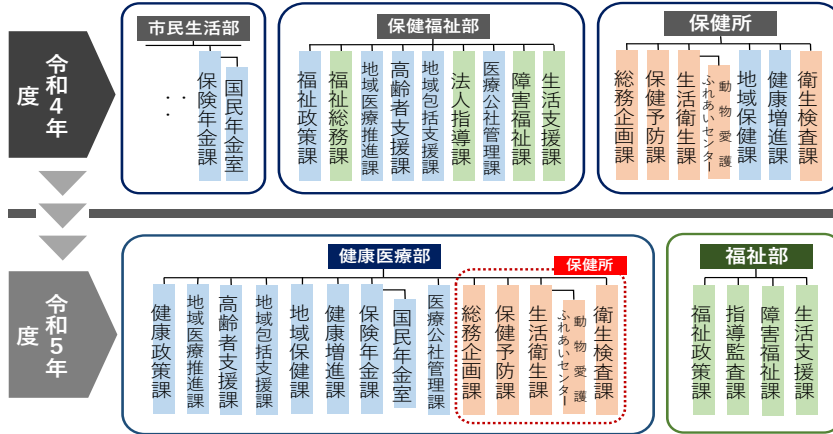
スライド 1

柏市の健康づくり施策（組織改編：健康医療部の設置について）

資料4

- 健康寿命の延伸の取組を強化するため、健康医療部を設置。医療、介護、健康づくりに関係する部署を集約し、乳幼児から高齢者まで一体的な支援体制を構築するとともに、介護予防、保健事業等を効果的に推進。
- 併せて、健康危機管理体制を強化するため、保健所を健康医療部の内部組織に改編。保健所事業と保健センター事業を切り分け、保健所は公衆衛生に特化。

■組織改編図（健康医療部、福祉部）



1

スライド 2

柏市の健康づくり施策（基本コンセプト（案）について①）

①目的	全ての柏市民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現											
②目標	<table border="1"> <tr> <th>定量目標</th> <th>目指すべき姿</th> </tr> <tr> <td> <健康寿命の延伸> 【健康寿命の定義】 ①日常生活に制限のない期間 ②自分が健康であると自覚している期間 ③日常生活動作が自立している期間 ⇒市町村は、③を採用 <主観的健康感の向上> </td> <td> ・市民の健康ニーズや価値観の多様化を踏まえ、市民にも分かりやすいビジョン（案） ・年齢を問わず、生涯を通じ、地域の中で心身の健康を土台に自分らしく輝き、自己実現できるまち ・健康格差の縮小により達成を目指す </td> </tr> </table>	定量目標	目指すべき姿	<健康寿命の延伸> 【健康寿命の定義】 ①日常生活に制限のない期間 ②自分が健康であると自覚している期間 ③日常生活動作が自立している期間 ⇒市町村は、③を採用 <主観的健康感の向上>	・市民の健康ニーズや価値観の多様化を踏まえ、市民にも分かりやすいビジョン（案） ・年齢を問わず、生涯を通じ、地域の中で 心身の健康を土台 に自分らしく輝き、自己実現できるまち ・健康格差の縮小により達成を目指す							
定量目標	目指すべき姿											
<健康寿命の延伸> 【健康寿命の定義】 ①日常生活に制限のない期間 ②自分が健康であると自覚している期間 ③日常生活動作が自立している期間 ⇒市町村は、③を採用 <主観的健康感の向上>	・市民の健康ニーズや価値観の多様化を踏まえ、市民にも分かりやすいビジョン（案） ・年齢を問わず、生涯を通じ、地域の中で 心身の健康を土台 に自分らしく輝き、自己実現できるまち ・健康格差の縮小により達成を目指す											
③現状の取組の整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>現在の市の施策例</th> <th rowspan="4">機能や効果に着目した事業の再整理、棚卸が必要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0次予防</td> <td> 自然に健康になれる生活・社会環境づくり ・ウォーカブルなまちづくり（公園、歩道の整備等） ・柏の葉スマートシティ </td> </tr> <tr> <td>1次予防</td> <td> 良好な生活習慣の形成 疾病予防・フレイル予防 ・健康教育（食事・運動等） ・柏ノースモッチ作戦 ・ウォーキング推進事業 ・予防接種 ・介護予防教室 フレイルチェック </td> </tr> <tr> <td>2次予防</td> <td> 早期発見・早期治療 ・がん検診 ・乳幼児健診 ・特定健診、特定保健指導 </td> </tr> <tr> <td>3次予防</td> <td> 重症化予防・QOL向上 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム ・認知症カフェ </td> </tr> </tbody> </table>	カテゴリ	現在の市の施策例	機能や効果に着目した事業の再整理、棚卸が必要	0次予防	自然に健康になれる生活・社会環境づくり ・ウォーカブルなまちづくり（公園、歩道の整備等） ・柏の葉スマートシティ	1次予防	良好な生活習慣の形成 疾病予防・フレイル予防 ・健康教育（食事・運動等） ・柏ノースモッチ作戦 ・ウォーキング推進事業 ・予防接種 ・介護予防教室 フレイルチェック	2次予防	早期発見・早期治療 ・がん検診 ・乳幼児健診 ・特定健診、特定保健指導	3次予防	重症化予防・QOL向上 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム ・認知症カフェ
カテゴリ	現在の市の施策例	機能や効果に着目した事業の再整理、棚卸が必要										
0次予防	自然に健康になれる生活・社会環境づくり ・ウォーカブルなまちづくり（公園、歩道の整備等） ・柏の葉スマートシティ											
1次予防	良好な生活習慣の形成 疾病予防・フレイル予防 ・健康教育（食事・運動等） ・柏ノースモッチ作戦 ・ウォーキング推進事業 ・予防接種 ・介護予防教室 フレイルチェック											
2次予防	早期発見・早期治療 ・がん検診 ・乳幼児健診 ・特定健診、特定保健指導											
3次予防	重症化予防・QOL向上 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム ・認知症カフェ											

2

スライド 3

柏市の健康づくり施策（基本コンセプト（案）について②）

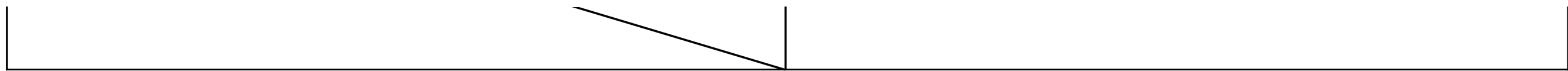
④現状の評価	取組の成果・強み ・健康寿命は県内でもトップレベル ・後期高齢者が日本一転ばないまち ⇒過去の健康づくりの取組が10年後に開花（ウォーキング人口増、地域の支えあいの普及等） ・活発な地域活動、産学官医連携の基盤	今後の懸念 ・単身世帯の増加 ・40代～50代の健康状態の悪化・二極化 ・子どもの生活習慣の二極化 ・地域ごとの健康格差の拡大 ・地域活動の衰え（担い手の高齢化、関心低下等）										
	柏市の今の健康寿命の水準は、2040年には維持できない可能性 若年層の転入増 → 新型コロナ感染流行に伴う健康意識の高まり											
⑤課題	① 市を挙げた取組の発信 ※ビジョンや宣言の発表等（Health in All Policies; "つづくをつなぐ"） ② 強みを生かし、課題に対応した新たな取組の検討 ※「誰一人取り残さない」「実効的な」取組を目指す											
⑥今後の対応	<table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>取組の強化の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0次</td> <td> 自然に健康になれる生活・社会環境づくり ・自然に楽しく健康になれる仕掛けづくり ・地域全体で無関心層へ働きかけ（新たなつながり） </td> </tr> <tr> <td>1次</td> <td> 良好な生活習慣の形成 ・世帯単位で子どもたちへの一貫したアプローチ（学校保健、児童福祉、ひとり親支援等との連携等） </td> </tr> <tr> <td>2次</td> <td> 疾病予防・フレイル予防 早期発見・早期治療 ・ターゲット層の明確化（30代～50代）・実効性向上 ・職域との連携（健康経営の推進等） ※柏市役所が職域として率先して取り組む ・プッシュ型支援（ナッジ等も活用） </td> </tr> <tr> <td>3次</td> <td> 重症化予防・QOL向上 </td> </tr> </tbody> </table>	カテゴリ	取組の強化の方向性	0次	自然に健康になれる生活・社会環境づくり ・自然に楽しく健康になれる仕掛けづくり ・地域全体で無関心層へ働きかけ（新たなつながり）	1次	良好な生活習慣の形成 ・世帯単位で子どもたちへの一貫したアプローチ（学校保健、児童福祉、ひとり親支援等との連携等）	2次	疾病予防・フレイル予防 早期発見・早期治療 ・ターゲット層の明確化（30代～50代）・実効性向上 ・ 職域との連携（健康経営の推進等） ※柏市役所が職域として率先して取り組む ・ プッシュ型支援（ナッジ等も活用）	3次	重症化予防・QOL向上	健康になれる環境や行動 政策効果の検証に基づき ↓柏の財産を活用した 産学官医連携② PRの活用
カテゴリ	取組の強化の方向性											
0次	自然に健康になれる生活・社会環境づくり ・自然に楽しく健康になれる仕掛けづくり ・地域全体で無関心層へ働きかけ（新たなつながり）											
1次	良好な生活習慣の形成 ・世帯単位で子どもたちへの一貫したアプローチ（学校保健、児童福祉、ひとり親支援等との連携等）											
2次	疾病予防・フレイル予防 早期発見・早期治療 ・ターゲット層の明確化（30代～50代）・実効性向上 ・ 職域との連携（健康経営の推進等） ※柏市役所が職域として率先して取り組む ・ プッシュ型支援（ナッジ等も活用）											
3次	重症化予防・QOL向上											

3

柏市経営戦略方針に係る保健衛生の取組評価

資料5

計画名		柏市母子保健計画		所管部署		地域保健課		計画推進における課題		
掲げる目標										
基本理念：親子がともに健やかに育つまち柏 基本目標 1.安心した妊娠・出産と心ゆたかに子育てができるまち 2.子どもの育ちと子育てを支え合うまち 3.配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち										
進捗評価										
主な取組①		切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援								
事業①	妊娠届出時の保健師等の面談					目標	面談率100%			
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) 最終年度となる令和8年度に面談の満足度を調査する。今後、進捗指標を検討する(関係機関との連携状況等)。				
	100	100	100	100	100					
事業②	要支援家庭への支援					目標	支援率100%			
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) 中間評価のための調査ではR1実績83.3%。				
	93.90%	95.80%	96.00%							
主な取組②		健康づくりを意識した地域活動、母子保健活動の推進								
事業①	電子親子手帳サービス事業					目標	アクティブユーザー率30%			
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考)				
	18.04% 1257名	16.78% 1452名								
事業②	地域ぐるみでの子育て支援(母と子のつどい参加者数)					目標	地域の人からの声掛け状況90%			
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) 中間評価のための調査ではR1実績77.3%。目標値は最終年度(令和8年度)同様。				
	実施なし	1,865	2,200							
今後の取組										
<p>○<u>切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援体制の強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠子育て相談センターにおける妊娠届時の全数面接をはじめとした全ての親子に対する各種母子保健事業の実施。 ・支援が必要な妊産婦、乳幼児(メンタルヘルス、予期せぬ妊娠、経済的問題、若年妊娠等)の早期発見・早期支援のための仕組みを構築していく。 ・令和8年度に予定している(仮称)柏市子ども・若者総合支援センターの開設を見据え、関係部署、関係機関との連携等の仕組みを構築していく。 <p>○<u>健康づくりを意識した地域活動、母子保健活動の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価の結果を反映したライフステージ別ポピュレーションアプローチの推進。(オンライン講座や交流機会の促進、電子親子手帳を活用した啓発の推進、ホームページの利用促進を目的とした内容の充実等) ・柏市民健康づくり推進員と協働し、地域での子育て支援、健康づくり活動を推進。 ・子育て支援拠点等他機関と連携し、子育て支援、健康づくり活動を推進。 										



計画名		柏市健康増進計画		所管部署		健康増進課		計画推進における課題	
掲げる目標		・高齢者の健康状態は他市に比して良好であり、健康寿命も高位に位置している。健康寿命・平均寿命共に年々延伸している。 ・子どもや成人の肥満の割合の増加等、健康増進計画で設定している一部の指標が悪化しており、市民の健康状態や生活習慣が二極化している可能性がある。取組みを強化していかなければ、現在の健康寿命の水準は維持できず、今後低下していく懸念がある。 ・単身世帯の増加や、担い手の高齢化による地域活動の衰えなどから、社会参加の減少や地域とのつながりの希薄化が今後一層進行する可能性がある。							
1.健康寿命の延伸									
2.生活習慣病の発症予防及び重症化予防の徹底									
進捗評価									
主な取組①		運動習慣の定着及び身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり							
事業①	ウォーキング推進事業					目標	20～59歳のほとんど運動をしていない人の割合40%		
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) ・ウォーキングパスポート・ウォーキングマップの電子化 ・フレイル予防ポイント事業との連携 ・令和5年度に指標取得予定			
	-	-	-	-	-				
主な取組②		野菜の摂取量を増やす取り組みの推進							
事業①	給食施設指導事業					目標	「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合の減少（前年度比）		
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) 目標値設定については今後検討予定			
	22%	57%	-	-	-				
事業②	野菜を食べよう柏協力店事業					目標	登録店舗数の増加		
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) 目標値設定については今後検討予定			
	47店舗	55店舗	-	-	-				
主な取組③		成人女性・妊婦の喫煙率低下のための取り組み及び受動喫煙対策の推進							
事業①	禁煙サポート事業					目標	禁煙支援薬局数の増加		
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) 禁煙外来及び禁煙支援薬局の周知啓発 目標値設定については今後検討予定			
	30店舗	23店舗	-	-	-				
事業②	おいでよ！カシワニ禁煙ステッカー等配付事業					目標	登録店舗数の増加		
進捗	R3実績	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	(備考) 目標値設定については今後検討予定			
	52店舗	107店舗	-	-	-				



柏市経営戦略方針に係る保健衛生の取組評価

新型コロナウイルス感染症について

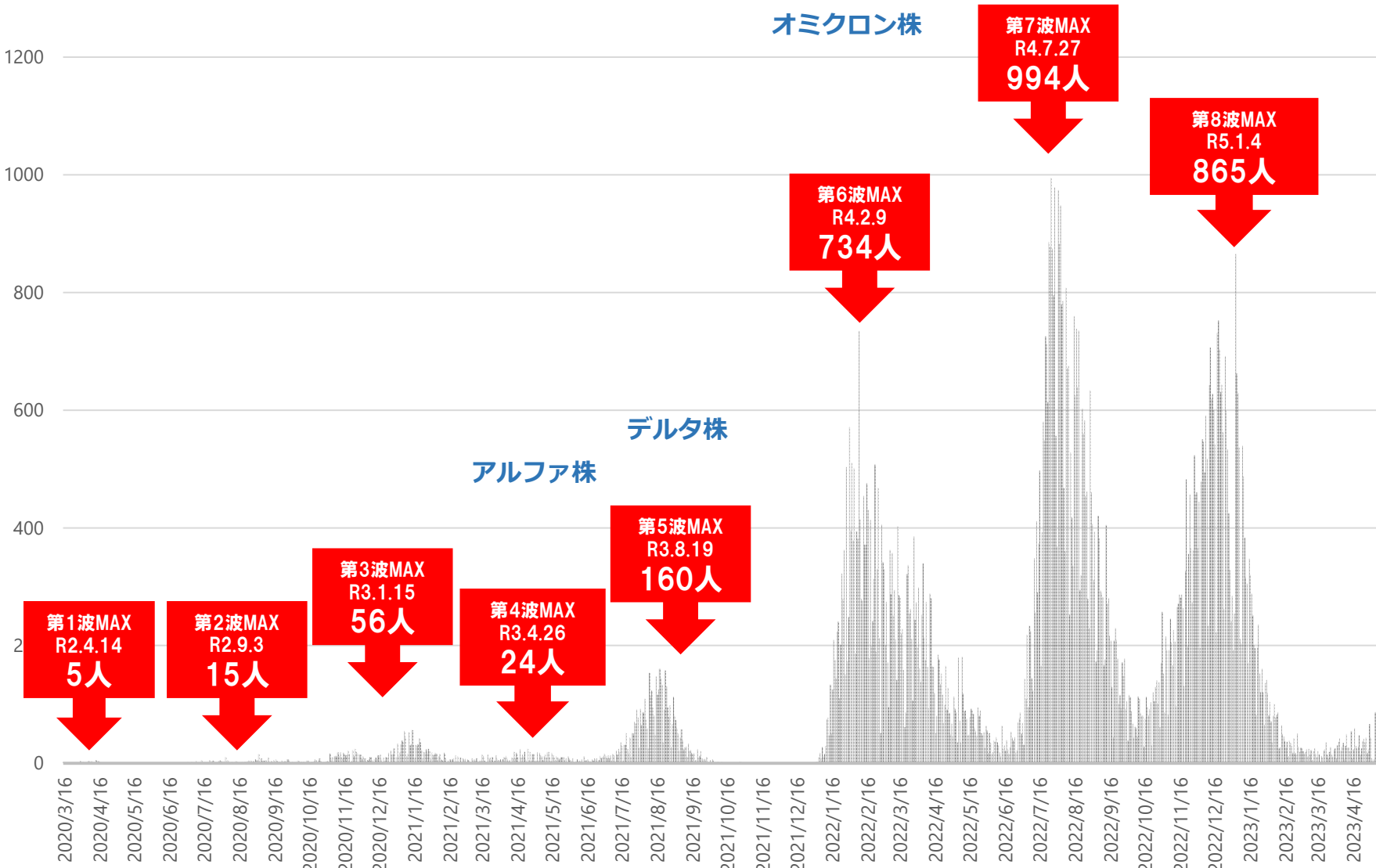
令和5年8月24日

柏市健康医療部保健予防課

健康増進課

1 新型コロナウイルス感染症の状況

(1)1日当たりの新規感染者数の推移



1 新型コロナウイルス感染症の状況

(2)波ごとの感染者数・死亡者数・入院者数

波	始期～終期	感染者数	1日当 最多	日付	1週間当 最多	期間
第1波	R2.2.21～R2.6.21	39	5	R2.4.14	14	R2.4.8～R2.4.16
第2波	R2.6.22～R2.10.11	228	15	R2.9.3	44	R2.8.31～R3.9.6
第3波	R2.10.12～R3.2.21	1,695	56	R3.1.15	250	R3.1.6～R3.1.12
第4波	R3.2.22～R3.6.13	860	24	R3.4.26	90	R3.5.11～R3.5.17
第5波	R3.6.14～R3.12.12	4,715	160	R3.8.19	873	R3.8.15～R3.8.21
第6波	R3.12.13～R4.6.19	29,894	734	R4.2.9	3,084	R4.2.3～R4.2.9
第7波	R4.6.20～R4.9.25	37,486	994	R4.7.27	6,016	R4.7.24～R4.7.30
第8波	R4.9.26～R5.5.7	39,454	865	R5.1.4	4,283	R4.12.19～12.25
合 計		114,371				

2 新型コロナの取り組み等

(1)令和4年度：令和4.4.1～R4.9.26

新規陽性者の急激な増加により保健所業務がひっ迫する中、重症化リスクの高い方への健康観察の重点化やICT化を図ると共に、保健所業務の更なる効果的かつ効率的な推進を図るため、コロナ業務の委託化及び派遣職員（看護師・事務）の活用を積極的に導入した。

- R4.5.23～ 柏市コロナフォローアップセンター（FUC）開設（外部委託：継続中）
保健所内で24時間体制として、夜間は夜勤職員と共に運営開始
- R4.6.27～ FUCが都内に移転し、委託先のみでの24時間体制開始
同時に保健所での24時間体制（夜勤）終了
- R4.7.22 宿泊療養施設（ホテル療養）運営再開（10/31まで）
- R4.8.1 自宅療養者の医療支援体制の強化としてファストドクター導入
- R4.8.8 受診相談センターの外部委託化（土日祝含む9時～17時）
- R4.8.12 市独自の抗原検査キット配布及び陽性者登録センター開設(8/31まで)
- R4.9.26 発生届の全数届出見直し

2 新型コロナウイルスの取り組み等

(2)令和4年度：令和4.9.27～R5.3.31

- R4.9.30 新規陽性者減少に伴い無料PCR検査の対象者縮小
- R4.11.1 宿泊療養施設（ホテル療養）休止（ホテルルートイン柏南）
- R4.11.25～**抗原検査キット購入費用助成事業開始**(R5.2/28まで)
 - 薬局等で購入する抗原検査キットの購入費用の助成を開始
- R4.11.26～宿泊療養施設（ホテル療養）再開（ホテルルートイン柏南）
- R5.1.27 **政府が5月8日から5類に移行することを発表**
- R5.1.31 宿泊療養施設を休止
- R5.3.31 各種事業の終了
 - 自宅療養者支援物品配送サービス
 - 自宅療養者医療支援(ファストドクター) 事業
 - 宿泊療養施設（ホテル療養）の借り上げ及び運営

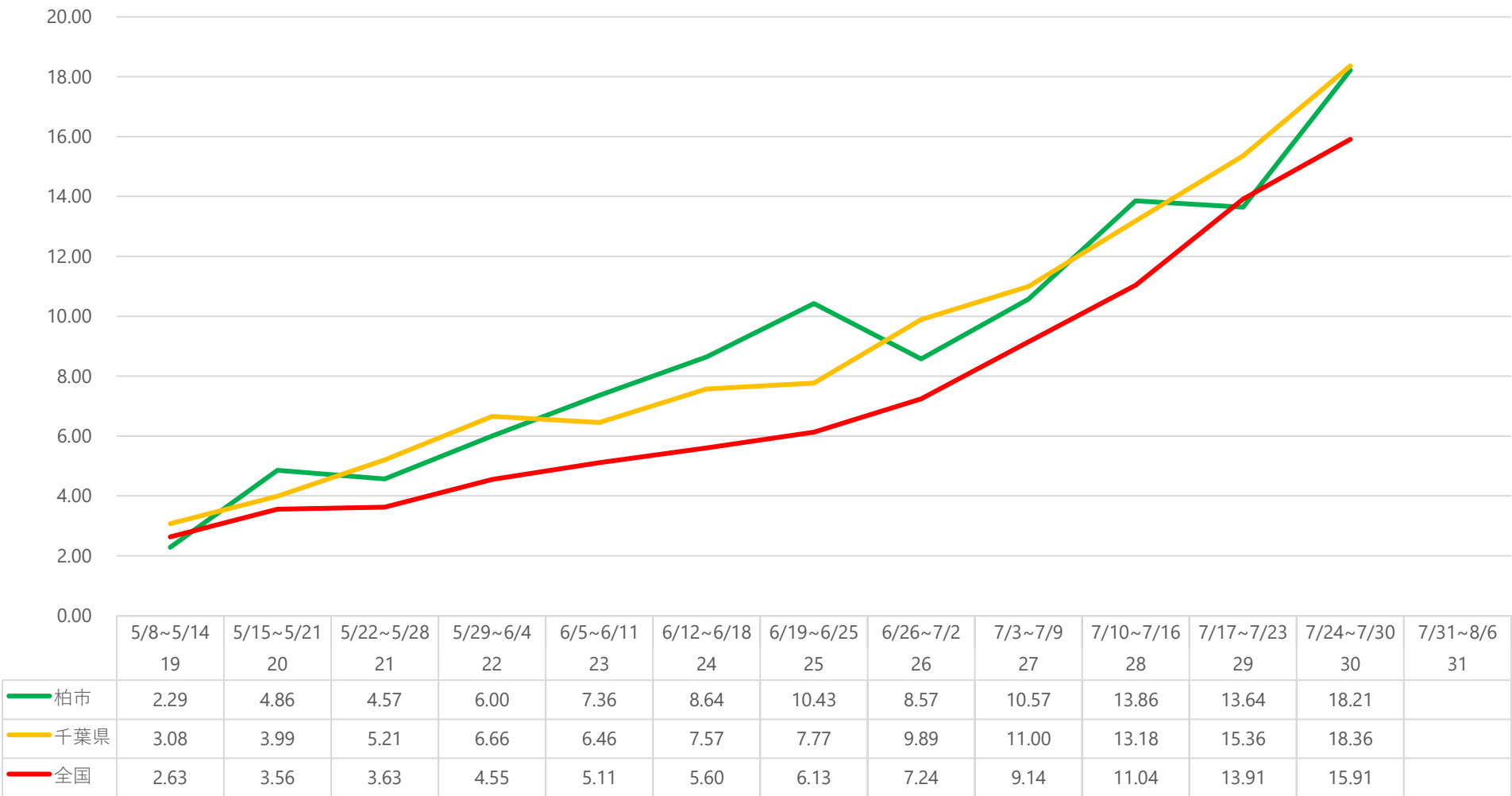
2 新型コロナウイルスの取り組み等

(3)令和5年度：令和5.4.1～現在

- R4.5.8 **新型コロナウイルス感染症が感染症が5類に移行**
- // 「柏市新型コロナウイルス対策本部」が解散
- 健康医療部内に「柏市新型コロナウイルス連絡会議」を設置
- // 市民からのコロナ関連の相談窓口として「**柏市新型コロナウイルス感
染症相談センター**」開設
- R4.5.9 外部化事業の終了
- 派遣事業：看護師，事務
- 委託事業：搬送業務
- R4.5.14 柏市コロナフォローアップセンター事業終了
- 保健所による陽性者の健康観察を終了
- R5.5.19 週報による新型コロナウイルスの感染状況公表（第19週～）

3 5類移行後の新型コロナウイルス感染症の状況

週報（定点）のまとめ



— 柏市 — 千葉県 — 全国

4 柏市の新型コロナワクチン接種の実績

令和3年2月から5年7月までの約2.5年間で、延べ136万回の接種を実施。

資料:VRS令和5年8月9日時点

接種期間 【主な接種】	個別接種(その他含む)		柏市集団接種		合計
	65歳未満	65歳以上	65歳未満	65歳以上	
R3.2~R3.12 【1・2回目接種】	416,683回	201,642回	56,339回	7,967回	682,631回 (49.99%)
R4.1~R4.6 【3回目接種】	146,078回	80,369回	27,340回	21,828回	275,615回 (20.18%)
R4.7~R4.9 【4回目接種】	38,366回	73,159回	6,399回	13,021回	130,945回 (9.59%)
R4.10~R5.4 【R4秋開始接種】	81,145回	71,437回	28,722回	16,859回	198,163回 (14.51%)
R5.5~R5.7 【R5春開始接種】	10,822回	60,734回	1,381回	5,245回	78,182回 (5.73%)
合計	693,094回 (86.44%)	487,341回	120,181回 (13.56%)	64,920回	1,365,536回 (100.00%)

部署名	健康政策課
分掌事務	
<ol style="list-style-type: none"> 1 豊四季台地域高齢社会総合研究会(在宅医療に関するものを除く。)に関する事。 2 健康・医療施策に係る政策に関する事(他の部署の所管に属するものを除く。) 3 健康危機管理の総括に関する事。 4 医療連携の推進に関する事。 5 健康医療部、福祉部及びこども部内の組織、定員、予算及び人材育成に係る調整に関する事。 6 健康、医療及び介護における国、県等の政策及びその他の官公庁等に係る新規事業等の所管に関する事。 7 部内の事業調整及び庶務に関する事。 	
令和4・5年度の状況、現在の課題	
<p>1 令和4年7月に柏市若年がん患者在宅療養支援事業を新規開始。令和4年度の実績は、利用登録者5名に対し、合計278,820円を支給。今後の課題として、各市が独自の制度設計を行っており、自治体間の差異が発生していることから、事業拡大・修正等の検討や見極めを行っていく必要がある。</p> <p>2 対人システムは総務省の自治体情報システム標準化の対応を進めている。対物システム（システム標準化適用外）は、令和6年度以降のシステムベンダをプロポーザルにより選定し、新たなベンダとの契約を締結した。課題として、年度末までの約8か月間で、現行ベンダからのデータ移行や運用テストなどを終え、4月1日から確実に実務運用開始できるよう、スピード感をもって対応する必要がある。</p>	
令和5年度以降の取組み	

1 若年がん患者在宅療養支援事業は、関係機関や利用者からの声を集約しながら、近隣市の実施状況も踏まえて、事業の方向性を検討していく。

このほか、がん患者を支援する新規事業として、アピアランスケア事業を開始するべく、予算確保、規則制定、事業案内などの作成を行い、早期開始を目指す。

2 対人システムは、システム標準化に向けて、Fit&Gapの実施を足掛かりとして、事業担当者・システムベンダ・DX推進課と協議しながらスケジュールや対応方針を決定する。

また対物システムは、年度内で確実にシステムリプレイスを完了させるべく、事業担当者・現行及び次期ベンダ・DX推進課との協議を随時実施し、スムーズな移行を目指す。

令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）			有	無
事業名		内容		
概算		財源種類		

部署名	地域保健課
分掌事務	
<p>1 地域保健担当（地域保健の推進，柏市民健康づくり推進員，母子保健に係る医療費助成，出産・子育て応援給付金の給付に関すること）</p> <p>2 母子保健担当（母子保健の推進，母子健康診査に関すること）</p> <p>3 子育て包括担当（子育て世代包括支援センターの運営，妊産婦・新生児の訪問指導及び乳児家庭全戸訪問事業，産前・産後サポート事業，母子保健の相談支援，産後ケア事業，伴走型相談支援の実施に関すること）</p>	
令和4・5年度の状況，現在の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い，令和4年度から参集型で実施していたママパパ学級をオンライン化により実施。また，中止していた，柏市民健康づくり推進員による地域活動等事業を令和4年度から，8か月児相談を令和5年度から再開した。 ・産後ケア事業について，令和4年度にアウトリーチ型の開始，宿泊型，通所サービス型の施設の拡充を実施。支援が必要なかたが必要なタイミングで支援を受けられるよう支援体制の充実を図った。令和5年度についても，委託施設の拡充を図る。 ・令和5年2月から，妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ，様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し，経済的支援を一体として実施する，出産・子育て応援給付金事業を開始。 ・核家族化や人間関係の希薄により，交流の減少，親族支援等も受けづらく孤立しやすい環境であることから，育児不安等が増加している。また，ハイリスク妊婦の内，こころに問題を抱える妊婦の割合が増加している。 	
令和5年度以降の取組み	
<p>安心して子ども産み育てることができるよう妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を提供する。支援が必要な家庭に対し，関係機関と連携して，安心して子育てを行うことができるようにする。令和8年度の（仮称）柏市子ども・若者総合支援センターの開設を見据え，関係部署，関係機関との連携等の仕組みを構築していく。</p> <p>(1) 特定妊婦・要支援家庭の早期発見のための仕組みの構築</p> <p>(2) 妊産婦や乳幼児の切れ目ない支援の強化</p> <p>(3) （仮称）子ども・子育て支援複合施設開設に向けた準備</p>	

令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）			有	<input checked="" type="radio"/> 無
事業名		内容		
概算		財源種類		

部署名	健康増進課
分掌事務	
<p>1. 総務担当 (健康増進施策の企画及び計画に関する事、健康増進施策に係る補助金に関する事、中央保健センター及び沼南保健センターの管理及び運営に関する事)</p> <p>2. 予防接種担当 (予防接種に関する事)</p> <p>3. 保健事業担当 (健康増進施策の実施に関する事、受動喫煙対策等に関する事、がん検診の実施に関する事、健康増進法(平成14年法律第103号)第19条の2の規定による検診等(がん検診を除く。)の実施に関する事、国民健康保険及び後期高齢者医療の保健事業に関する事、特定健康診査及び特定保健指導に関する事)</p> <p>4. 新型コロナウイルスワクチン接種担当 (新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する事)</p>	
令和4・5年度の状況、現在の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は新型コロナワクチン接種事業を円滑に進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対応で縮小していた業務を全て再開した。また、子育て世代の経済的負担の軽減や発症及び重症化予防を図るため、小児インフルエンザ予防接種費用助成事業を新たに開始した。 ・令和5年度組織改編により、新たに国民健康保険の保健事業担当が統合し、全ての市民の保健事業を一体的に切れ目なく行う体制として強化された。新型コロナウイルス感染症流行に伴い、市民の健康意識への高まりが見られていることから、組織改編のメリットを生かして、実効性のある保健事業の企画や取組みの充実を図っていく。 	

令和5年度以降の取組み

・令和5年度から、延期していた柏市健康増進計画の評価、次期計画策定に向けて、健康増進部会での具体的な審議を開始する。新型コロナウイルス感染症の影響により、健康増進計画で設定している一部の指標が悪化していることから、市民の健康状態が二極化していることが考えられるため、若い世代を主軸に、無関心層までをターゲットとして捉えた形で取組みを整理する。その際には、民間企業や関係機関の強みやネットワークを活用した連携のあり方を模索する等、多様な主体との連携を積極的に進めていくとともに、庁内関係部署との連携強化を図る。

・令和5年度は、「市民健康意識調査」の実施結果や各種データを分析し、現行の健康増進計画の評価、次期計画策定のための健康課題の整理・見直し・評価指標の検討を行う。

・新型コロナワクチン接種の特例臨時接種期間が令和6年3月31日までと位置付けられていることから、関係機関との調整を丁寧に行いながら、必要な接種体制を確保していくとともに、令和6年度以降の定期接種化に向けた事業の整理・統合を進めていく。

令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）

有

無

事業名		内容		
概算			財源種類	

部署名	総務企画課
分掌事務	
<p>1 総務企画担当 (地域保健に係る企画立案及び調整に関する事。健康危機管理の施策に関する事。地域保健に係る調査研究に関する事。地域保健関係職員の人材育成に関する事。保健所内の事業調整に関する事。保健統計に関する事(他の部署の所管に属するものを除く。)。柏市保健衛生審議会に関する事。柏市総合保健医療福祉施設の管理に関する事。保健所内の庶務に関する事。健康増進法及び食品表示法に基づく指導等に関する事。調理師法に関する事。)</p> <p>2 医事薬事担当 (医療法に関する事。医療安全相談に関する事。医療関係従事者等の免許等に関する事。臨床検査技師等に関する法律に関する事。あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律及び柔道整復師法に関する事。死体解剖保存法に関する事。歯科技工士法に関する事。医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に関する事。毒物及び劇物取締法に関する事。覚醒剤取締法に関する事。薬物乱用防止対策に関する事。内部精度管理の総括に関する事。保健師助産師看護師法に関する事。歯科衛生士法に関する事。)</p>	
令和4・5年度の状況、現在の課題	
<p>○令和4年度も新型コロナウイルス感染症の波が続き、対人で行われる事業等の実施が制限された。</p> <p>○同様に緊急的対応が断続的に発生したため、人材育成など計画的に実施される取組について変更や中止が余技なくされた。</p> <p>○そのような中、デジタル化技術の活用を図り、動画によるオンライン研修や各種会議を実施した。</p> <p>○令和5年5月8日からの新型コロナウイルス第5類移行を受け、各取組・事業を再開。</p>	

令和5年度以降の取組み

1 専門職の人材育成：新興感染症などの健康危機に備えた研修実施に向けて企画検討を進める。また、人材育成基本方針に基づくキャリアパス運用や研修，学生実習受入れ等を引き続き実施する。今後は，他自治体との人材交流，専門職のジョブローテーションの改善，県職員の派遣終了を見据えた管理職の育成等を進める。

2 医療機関等の立入検査：令和4年度は，新型コロナの感染拡大に伴い，病院18施設に対し書面検査を実施。令和5年度については，4年ぶりの実地調査を実施予定。検査項目の重点化等，検査内容を見直し中。また，薬局・毒物劇物販売業者，給食施設等も立入検査を実施する。

3 健康危機管理：健康危機に備えて計画的に準備を進めるべく，健康危機対処計画を令和5年度末までに策定（国から保健所設置自治体に要請）。その他に，市民啓発，対応研修や各種資材の備蓄等を実施する。

4 ウェルネス柏工事関係：経年劣化により，館内エアコンや外壁・屋上塗装の問題が発生しているため，改修工事を令和6・7年度の2か年で実施。

5 各種啓発：新型コロナ感染症の第5類引き下げを機に，薬物乱用防止や骨髄バンク登録キャンペーン等の各種啓発を順次実施する。

令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）

有

無

事業名	内容	概算	財源種類

部署名	保健予防課
分掌事務	
<p>1 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関すること</p> <p>2 精神保健及び精神障害者福祉に関すること</p> <p>3 指定難病医療費助成制度に関すること</p>	
令和 4 ・ 5 年度の状況, 現在の課題	
<p>1 新型コロナウイルス感染症対応に専念するため一部業務の休止や縮小をしていたが, 令和 4 年度に保健所における新型コロナウイルス感染症対応に係る業務の重点化を図り, 外部委託化等による保健所業務の効果的かつ効率的な実施に質する取組を進めた(別途「新型コロナウイルス感染法の取組」で報告)。</p> <p>このことにより令和 4 年 1 1 月から HIV 等検査事業で, 受け入れ人数の縮小等の制限をしつつ再開した。今年度は夜間検査及び休日検査も再開し, 特に感染者が増加している層向けの予防啓発の取組を実施する予定。また, 昨年度から感染性胃腸炎の集団発生やインフルエンザ等の季節性の感染症の発生動向に増加が見られていることから, 今後, 発生動向を注視しながら社会福祉施設等に向けた研修会の開催や対象者に合わせた予防啓発に重点的に取り組む必要があるため, ICT 化や外部委託化を図る等業務の効率化を図ることが必要である。これにより体制強化を図り, 次の危機事象に備えた人材育成に繋げたい。</p> <p>2 福祉・母子保健・介護等の分野と精神保健分野の複合的な支援ニーズを抱えているケースが増加している。また, 緊急対応等警察からの支援依頼も増加。緊急対応や複雑で困難なケース支援が求められ, 順位を付けながら優先的に対応している。R 4 年度より「自殺未遂者支援対策」の取組を目指し, 救急課や救急応需病院等, 新たな関係機関との連携や重層的支援体制整備事業及び精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の推進を継続し, 地域の支援機関と地域課題への取組んでいく。</p> <p>3 令和 5 年 1 0 月 1 日から指定難病医療費助成の有効期間開始日が現在の申請日から前倒しして重症化時点(認定基準を満たすことについて指定医が診断した日)に遡ることとなる。</p>	

令和5年度以降の取組み

1 千葉県感染症対策連携協議会に参画し、平時から関係機関との連携協議に加わると共に、コロナ対策の振り返りに基づく柏市予防計画を策定する。策定後は、計画に沿った研修や訓練の実施等、体制構築に取り組む。

2 精神保健福祉法改正に伴い、令和6年4月1日から精神的な課題を抱える方の相談支援業務が市町村に移譲される。庁内の体制整備、連携強化、各部署の役割を明確化し、それぞれの専門性を活かした相談支援体制整備に取り組む。

3 令和6年4月1日から障害福祉サービスの申請、就労相談等の窓口で使用できる「登録者証」の発行申請受付事務が千葉県から委任される可能性がある。

令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）

有

⊖

事業名	内容
概算	財源種類

部署名	生活衛生課
分掌事務	
<p>1 環境衛生担当 (理容師法, 美容師法及びクリーニング業法に関する事。興行場法, 旅館業法及び公衆浴場法に関する事。水道及び飲料水の衛生に関する事。温泉法に関する事。有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に関する事。遊泳用プールの衛生に関する事。化製場等に関する法律に関する事。建築物における衛生的環境の確保に関する法律に関する事。環境衛生に係る検査に関する事。)</p> <p>2 食品衛生担当 (食品衛生に関する事。食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に関する事。と畜場法に関する事。)</p>	
令和4・5年度の状況, 現在の課題	
<p>1 環境衛生担当</p> <p>(1) 生活衛生関係営業施設の許可・確認 令和5年7月末現在, 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による, 申請件数等に大幅な増減はない。申請又は届出に基づき, 現地にて構造等を確認し, 許可又は確認を行う。</p> <p>(2) 生活衛生関係営業施設の監視 令和4年度は, 新型コロナウイルス感染症対応等のため, 予定数の施設監視実施が難しかった。令和5年度の施設監視は, 新型コロナウイルスの影響で監視を見送っていた施設を中心に実施する予定である。</p> <p>(3) 事業推進にあたっての課題 新型コロナウイルス感染症流行の前後で, 利用者が求める, 施設の消毒や清掃に対する衛生意識が向上しており, 苦情や相談件数が例年に比べ増加している。定期検査時には, 施設内設備等の指摘(ハード面)だけでなく, 事業者に対し衛生管理における啓発(ソフト面)を今まで以上に積極的に実施する必要がある。</p>	

2 食品衛生担当（食鳥検査含む）

(1) 健康危機事案を最優先項目として、従来どおり実施。

食中毒事件発生状況：令和4年度0件、令和5年度0件（7月末現在）

保健所に寄せられる苦情の申出が増加傾向にある。コロナ明けで社会活動が活発化、人々の行動範囲が拡大し、外食利用が増加している影響が一要因として考えられる。

(2) 営業許可、営業届出の許認可業務

通常どおり実施した。

(3) 施設の監視、指導

令和4年度の施設監視は、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ一部省略して実施したが、令和5年度は、コロナ前の水準に戻した計画とし実施している。

(4) 食品等の収去、外部委託検査

ほぼ計画どおり実施した。

令和5年度以降の取組み

1 環境衛生担当

新型コロナウイルス感染症流行前の水準で施設監視を行うことを基本とするが、公衆衛生に与える影響等を勘案し、業種毎に監視実施頻度及び監視方法等を見直し、監視が円滑に実施できるよう工夫する。

また、ホームページ等を利用し、施設管理等に必要な情報を積極的に発信する。

2 食品衛生担当（食鳥検査含む）

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、延期としていたHACCP理念に基づく監視、指導を、従前に近い水準に戻す。

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理講習会&相談会を開催し、食品事業者のHACCP導入を支援する。

令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）		有	無
事業名	内容		
概算		財源種類	

部署名	動物愛護ふれあいセンター
分掌事務	
<p>1 狂犬病予防法に基づく事務</p> <p>2 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事務</p> <p>3 動物愛護ふれあいセンターの管理運営に関する事務</p>	
令和4・5年度の状況、現在の課題	
<p>令和4年度は、感染対策を講じながら通常業務に戻している。啓発イベントは予約制にして開催、動物取扱業の定期立入も通常通り再開している。収容動物の譲渡については、30分毎の事前予約制として維持。対面、集客を伴う事業については、感染症対策を徹底したうえで通常通りの頻度で実施した。</p> <p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月8日より感染症法上の取り扱いが5類となったことを受け、業務全般が通常時に戻った。しかしながら、柏市内では高齢者への新型コロナワクチン接種が引き続き実施され、昨年度応援派遣した職員1名を、5月上旬から7月中旬まで兼務者として派遣した。このため、窓口サービス等の一部の業務に遅れが生じた。</p> <p>一方昨年6月から、ペットショップ等で完全義務化された、犬・猫のマイクロチップ登録制度は、市内でも順調に普及しており、令和4年度末現在で約2,200頭の犬の登録が、マイクロチップにより行われた。</p>	
令和5年度以降の取組み	
<p>1 感染症対策を講じた上で、各種啓発イベントを開催していく。</p> <p>2 苦情の多くを占める飼い主のいない猫対策として、地域猫の不妊去勢手術助成金事業の拡充を図っていく。</p> <p>3 災害時対策としては、避難所へのペット同行・同伴避難を防災安全課と協調し実施する。また被災傷病動物の救護などに関しては、千葉県獣医師会東葛支部と協定を締結し、動物愛護ふれあいセンターが、動物救護本部として稼働する。</p> <p>4 令和4年6月から販売前装着が義務化されたマイクロチップについて、脱落のおそれがない個体識別器具であり、災害時等で飼い主と離れた場合においても所有者明示として有効であることから、普及促進に努めていく。</p> <p>5 令和6年度には、動物愛護ふれあいセンターが開設10周年を迎えることにより、より一層市民の認知度を向上させ、親しみやすいセンターを目指し、市民参加型ボランティア事業の拡大や市民と協働で実施する啓発事業を展開する。併せて、事業に協力を頂く団体や、ボランティアの表彰などを検討していく。</p>	

令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）		<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
事業名	地域猫の不妊去勢手術助成金	内容	地域猫登録した個人または団体に対して、不妊去勢手術費用の助成を行うもの。市民から多くの要望が寄せられ、過去2年間は予算不足となったことから、令和5年度予算額120万円を令和6年度は200万円に拡充するよう要求予定。
概算	2,000,000円		一般財源

部署名		衛生検査課	
分掌事務			
1 健康危機事案に係る検査に関すること 2 臨床検査に関すること 3 食品衛生検査に関すること 4 環境衛生検査に関すること			
令和4・5年度の状況、現在の課題			
令和4年度は、新型コロナウイルスPCR検査等の新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所業務が増加したため、その他の一部事業を縮小して業務に対応したところであるが、令和5年度からは、新型コロナウイルス感染症発生前の検査体制で業務を行っている。 専門的な知識や技術を要する試験検査業務を行うための必要な体制整備を更に推進させることが現在の課題である。			
令和5年度以降の取組み			
地方衛生研究所等との連携を促進させ、検査体制の強化及び人材の育成を行う。また、外部機関が実施する外部精度管理に積極的に参加し、検査精度の信頼性確保に努める。			
令和6年度 新規・拡充・統合事業（案）			有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
事業名		内容	
概算		財源種類	